

介護報酬引き下げを  
国と県に訴えるべき



訪問介護報酬の是正を

**石井** 令和6年度の介護報酬改定において、訪問介護事業関連の報酬が引き下げられた。都市部の訪問介護事業者の収益率が高いことが理由だが、中山間地域などでは1日に訪問できる件数が限られており、経営が厳しくなる。国と県に対して是正を申し入れていくべきではないか。

**市長** 大事な問題だと思っている。高梁市のホームヘルパー協議会の会員さんは減り、平均年齢も高い。この1年が勝負だと思っている。国や県へ声を上げていかなければならない。



法改正を契機に  
積極的な空き家対策を

**石井** 空き家対策特別措置法が改正され、まだ住める状態の空き家が勧告の対象となる。また相続登記が義務化される。市庁舎内にもトップの相談窓口を作るべきではないか。

**政策監** 令和6年度から国の補助事業を活用して、住もうよ高梁推進課に総合的な相談窓口を設ける予定としている。

**石井** アンケートを取ることで空き家について考える契機となるのではないかと。

**政策監** 官民連携による体制を構築して、積極的に所有者に働きかけていきたい。

石井 聡美 議員



環境施策と動物愛護について



野良猫対策について問う

**森上** 今、地域猫活動を進めるといような話をされたが、地域猫活動をするためにもTNRというのには必要だ。TNRをせずに地域猫活動はできない。それをするために、飼い主のいない野良猫に対し、誰が責任を持つてするのか。

**市民生活部長** 飼い主のいない猫について先ほども申しましたようにTNR活動が有効であるということ。それから県の施策でありまして、近所のことでも考えますと、やはりそれだけよりもさらに進んだ、地域猫活動というのを行政とすればお勧めするということにはなっております。それを誰がやるのかというような質問



不妊去勢処置をした印として耳先をカット

だったと思いますが、これは現在の進め方でやりますと飼い主のいない猫がいる地域の方が、どのように対応するかというお考えのもとで検討をしていただく、というような考え方でございます。以上です。

**森上** 要するに、野良猫のいる地域の人間が「責任を持って自分達でしろ」ということですね。

森上 昌生 議員



※TNRとは……野良猫を捕まえて (Trap)、不妊去勢手術をし (Neuter)、元の場所に戻す (Return) ことで、野良猫を増やさない活動。  
※地域猫とは……地域の理解と協力のもと、不妊去勢を施した上で地域住民の認知と合意を得て管理された猫。

災害対策に  
わが事として対応すべき！



大規模地震への  
防災対策について

**金尾** 長者ヶ原―芳井断層が広島県福山市から高梁市川上町付近まで延びている。岡山県ホームページでは川上地域は震度5強との予測を公表している。広島県と福山市・井原市等との広域的な防災会議の設置、情報交換等が必要ではないか。

**政策監** 防災マップには南海トラフ地震のみ記載しているが、対応としては活断層による地震も含まれている。今後は併記して両方の防災対応を図っていく。岡山県と広島県の情報共有は必要だが、協議会は考えていない。

**金尾** 川上地域は備後圏域との関係性が深い。「わが事」として積極的に考えていただきたい。

金尾 恭士 議員



学校園適正配置計画について

**教育長** 市の公共交通会議で全体的な計画が令和6年度から議論されることをまえ、令和6年度中には検討していく。

**金尾** 公共交通の問題・ドライバー不足も深刻な状況。慎重に検討していただきたい。



災害復旧事業に係る  
不適切な事務処理に  
関する再発防止策について

**金尾** 再発防止策が示された。短期、中長期として具体的な進行管理スケジュールが必要ではないか。

**総務部長** スケジュール感は重要。すくなくてもやるべきことはすでに実施している。相談しやすい職場環境を作るなどについては長い目でしっかりと見ていく必要がある。

猫城主を生かした  
動物愛護とまちづくりを



動物愛護について

**森** 鳥獣被害に悩む本市の実情を理解した上で質問するが、野良猫問題を解決するために市としての取り組みを示す時ではないか。

**市長** 野良猫問題に税を投入するのがどうかという議論があるが、環境を守るといふ大きな観点の中で、一つの手法として考えること納税を使用することも考えられる。

この問題については住民の意識を高める、飼い主のいない猫をどうするのか、二つの論点でこれをまとめていかないとけない。

**森** 愛護動物と安心して「健康」に暮らせるまちづくりも必要ではないか。

**市長** 愛護動物を通じて大勢の人が交流できるまちづくりは必要だと考えている。



高梁市立  
学校園適正配置について

**森** 再編を受け入れる小学校、中学校の取り組みについて問う。

**教育長** 再編前には児童生徒同士の交流を行う。授業改善、生徒指導などの強化、「コミュニティ・スクールを通じて地域との連携を強め、開かれた学校をつくり上げていく。



防犯灯整備について

**森** 防犯灯設置事業が新年度予算に計上されているが、要望がある通学路をカバーできるのか。

**市長** 通学路の防犯灯には国交省の補助制度がある。通学路については防犯、安全のためにも設置を考えていく。

**森** 高梁市の夜は非常に暗い、ウォーキングやジョギングを楽しむ人のためにも防犯灯の増設を強く望む。

森 和之 議員

